

分野	1. 土木	工種	1. 共通		
技術の名称	土木泥水再利用システム		NETIS 番号	KT-200041-A	
副題(商標名等)	矢板工事等で使用する水(ウォータージェット等)を再利用。泥水を発生した場所で、水と泥土に分離し、廃棄物の削減、経済性・施工性の向上が行える。		登録(申請)年月日	2020年4月28日	
応募技術条件	次のいずれかの項目に適合(該当項目の口をチェック下さい)				
チェック	<input checked="" type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等が開発したもの。			
	<input type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの			
	<input type="checkbox"/>	県内に自社工場のある建設関連企業等が開発したもの( 工場 市)			
効果	右番号から選択 1,2,4,5,6	1 コストの縮減 2 安全性向上 3 品質の向上 4 工期の短縮 5 環境	6 施工性の向上 7 その他 効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください	分類 1	右番号から選択 1 工法 2 材料 3 機械 4 情報 5 その他
開発者(提案者)	会社名	セイスイ工業株式会社			
	住所	千葉県千葉市若葉区上泉町424-18		TEL 043-312-0895	
問合せ先	会社名	セイスイ工業株式会社			
	担当部署	営業本部・技術部・経営企画グループ			
	氏名	井本 謙一			
	住所	〒265-0045 千葉県千葉市若葉区上泉町424-18			
	TEL	043-312-0895	FAX	043-312-0897	
	URL	<a href="http://seisui-kk.com/">http://seisui-kk.com/</a>			
	E-mail	<a href="mailto:mizu@seisui-kogyo.co.jp">mizu@seisui-kogyo.co.jp</a>			
概要	本技術は、土木泥水再利用システムで、従来技術では発生した泥水は産業廃棄物処理されていた。本技術の活用により、工事による汚泥等の廃棄物の総量の削減、汚泥の沈殿処理の待機時間がないため、経済性・施工性の向上が図れます。				
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来、産業廃棄物処理していた泥水を、現場にて泥土と水に分離し、分離した水を連続的に再利用できるように変えた。</li> <li>・産業廃棄物として処分されていた水を再利用することで、産業廃棄物を削減でき、経済性の向上と地球環境への影響抑制が図れる。</li> <li>・産業廃棄物として処分されていた水を再利用することで、追加補給する水量を削減できる。</li> <li>・連続的に水を再利用することで、水質改善や沈殿の待ち時間(作業待機時間)が無くなり施工性の向上が図れる。</li> </ul>				
施工方法	①プラント機材搬入、配管・配線・その他機材設置 ②試運転、運転調整 ③矢板施工により泥水発生 ④水処理再生システムにより泥水を泥土と再利用水に分離 ⑤再利用水を使用し、矢板を施工 ⑥矢板施工終了後、設備内の泥水を処分 ⑦配管・配線・その他機材撤去、プラント機材搬出 ※③~⑤の工程は、矢板施工終了まで繰り返し行う。				
施工・材料単価(従来との比較)	【新技術】泥水再利用システムで施工 合計 8,633,516 円/100[枚]あたり 【従来技術】バキューム車等で収集・運搬工法による処分施工 合計 12,840,750 円/100[枚]あたり				
適用条件・範囲	①適用可能な範囲 濃度3,000~250,000mg/L、比重1.01~1.15、pH5~11の凍結していない泥水。 ②特に効果の高い適用範囲 濃度5,000~150,000mg/L、比重1.01~1.10程度の泥水 (5,000mg/L以下の濃度になると濁水処理工などで分離処理が難しくなる、削減効果が低下するため) 現場内で汚泥の天日乾燥を行い再利用できるのであれば、さらなる廃棄量を削減できるようになります。				
施工・使用後の環境への影響	向上 産業廃棄物を削減できるため、地球環境への影響抑制が図れる。				
施工・使用上の留意点	①設計時 <ul style="list-style-type: none"> <li>・寒冷地では、水槽・排管等の凍結対策が必要</li> <li>・設置・撤去時にクレーン等の重機、運搬車両が必要(重機・運搬車両を使用するための設置面積が別に必要)</li> <li>・システムの資機材は千葉県から出荷</li> </ul> ②施工時 <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚や粘膜に接触した場合には、流水及び石鹼でよく洗浄</li> <li>・作業中は保護メガネ・防塵マスク・ゴム手袋を必ず着用</li> </ul> ③維持管理時 <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事終了後、使用水の廃棄には、濁水処理・バキューム車等により処理が必要。</li> </ul> 運転調整、薬剤の溶解作業等は下記の点に注意 <ul style="list-style-type: none"> <li>・眼に入った場合には直ちに清浄な流水で洗眼し、病院受診</li> </ul>				
実績状況(相手先、件数など)	国土交通省 2 件				
その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)	-				

